担当者スポット



なにもしない話

教育研修部　**樫村広秋**
Kashimura Hiroaki

僕の友人W氏は、長い間機械関係のエンジニアをしてきたが、近々定年を迎えることとなった。若いときから、機械に囲まれているのが大好きで、職場でも事務所にいるより現場にいることの方が多い。現場のエンジニアとして生きるというのが彼の持論である。そういう生き方をしてきた彼であるが、家庭内での評価はちょっと違う。休日でもエンジニア関係の本を眺めたり、得体の知れない機械を終日いじっているため、奥さんからの評判が良くない。特に近年は、子供が社会人となって家を出ているので、奥さんの相手がW氏のみとなり、何かと対応が厳しくなってきたと言う。

家のことは、何もしない。昭和生まれの世代にはよくあることだが、テレビなどから情報を得ることの多い奥さんには納得がいかない。奥さんの攻撃が激しくなると、W氏は「何もしないと言うが、それはそれで大切な意味があるんだ」「数字の0（ゼロ）を見なさい。何もないという意味だが、このなにもないゼロのおかげで、数学の世界では格段の進歩が図れたんだ。俺が何もしないということは、それはそれで意味のあることなんだ」と言っているそうだが、奥さんを納得させるまでもなく、いつもW氏の負けである。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年も各方面の方々のご協力を得て本誌を計画どおり発行できたことに、あらためて御礼申し上げます。特に、１年間に亘り「コラム」のご執筆を賜った東洋大学副学長北脇教授、また、「連載講義」、「行政のうごき」、「電子マニフェスト情報」等にご寄稿いただいた方々、「産廃クローズアップ」の取材に対応いただいた事業所関係者の皆様に、誌面を借りて感謝申し上げます。また、本号は新春号ということで、当センターが平素ご指導、ご協力を賜っている環境省、（公財）産業廃棄物処理事業振興財団、（公社）全国産業廃棄物連合会から、年頭のご挨拶をいただき、誠にありがとうございました。

センターは昨年、設立より25年を迎えました。これを一つの節目とし、次なるステージに歩み続けますので、今後ともご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

（新　井）

本誌に関する連絡先：総務部広報室　e-mail:jigyo@jwnet.or.jp

【アンケートへのご協力のお願い】
JWセンターのホームページでは、本誌のPDFファイルを掲載しています。ウェブアンケートで皆さまからのご意見等をお聞かせください。
URL　http://www.jwnet.or.jp/publish/kikansi/index.html

日廃振センター情報（季刊）VOL.13 NO.4　発行日：平成26年1月15日　発行人：岡澤和好
発行所：公益財団法人　日本産業廃棄物処理振興センター
〒102-0084　東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階
TEL：03-5275-7111　FAX：03-5275-7112　http://www.jwnet.or.jp/
デザイン・印刷　株式会社ぎょうせい